



キャリア支援室だより

つながい



Vol. 21 2014. 06. 16 発行 看護部キャリア支援室（内線 7807）

キャリア支援室船木典子看護師長の挨拶

今年度より看護部キャリア支援室の担当となりました船木です。キャリア支援室は、副看護師長3人と事務員、看護師長で活動しており、看護職のジェネラリスト、エキスパート育成支援の役割があります。部署内教育を担当する看護師長、副看護師長と連携を取りながら看護師のキャリアに応じた支援をしていきたいと思ひます。特に今年度の看護部目標では「フィジカルアセスメント能力を高める」が挙げられており、1～3年目看護師が集合教育で学んだ知識・技術を現場での実践に活かしていけるよう取り組んでいきます。どうぞよろしくお願い致します。



フルキャストで頑張ります！

キャリア支援室の今年度の取り組み

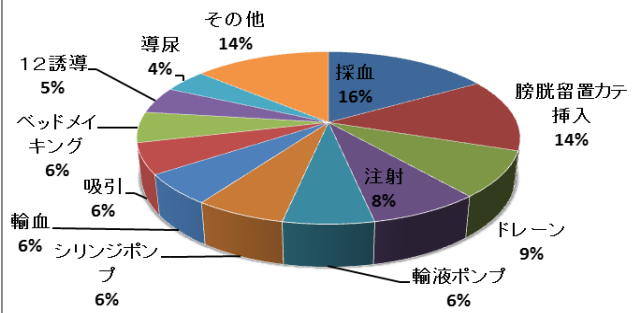
今年は、キャリアスタッフのジェネラリスト育成の支援として、集合研修と部署内教育とのつながり（連動）ができるように、部署の教育担当副師長や指導看護師と連携し、取り組んでいます。現在は、2年目多重課題研修にむけて、参加者がより一層フィジカルアセスメント能力を向上できるよう、企画・運営を日々汗だくで検討しています。参加する2年目のみなさん、部署での取り組みを研修で活用したり、日頃困っている課題を解決したり、2年目の仲間たちと部署から応援にきてくれる副看護師長さんと一緒に解決できる機会にしていきたいと思います。また、北大病院のホームページから、「看護部」⇒「TOPICS」を開くと1年目技術研修の様子などを紹介しています。是非ご覧ください。



平成25年度 看護技術研修室（フリー研修室）使用状況

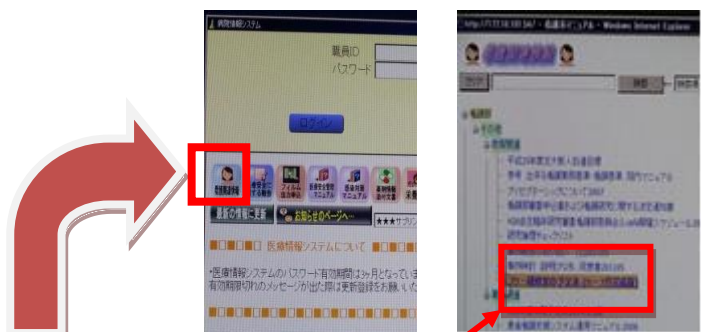
平成25年4月から平成26年3月までの看護技術研修室の使用状況を報告します。使用者延人数は99名（1年目：64名、2年目：8名、3年目：1名、4年目以上：26名）でした。毎週火曜日はキャリア支援室副看護師長の指導日ですが、その使用状況は合計34回、60名でした。技術項目別の使用状況は以下のグラフを参照してください。部署の先輩や副看護師長が指導者として実施した研修項目は膀胱留置カテーテル挿入、ドレーン管理、注射、採血などでした。この技術は侵襲が大きく、リスクを伴う技術項目で、「明日、実際に主体で実施するので練習にきました」「今日、上手くできなかったところを練習にきました」などと、原理・原則に基づいて安全・安楽に実施できることを目的に研修にきていました。

平成25年度看護技術研修室使用状況(N=139)



看護技術研修（フリー研修室）の活用方法、一部変更

1年目が病棟で経験する技術項目とその時期を考慮し、研修できる項目を増やし、シミュレータと物品は棚やピンクカートに設置し、準備から後始末までの過程を実施できるように整備しました。新人看護師だけでなく、2～3年目や、部署内研修・専門領域別研修での利用も可能です。使用可能な日程については、以下の方法で確認し今年度も引き続きご活用ください。



赤線の □ 印【看護関連情報】をクリックすると【看護部】→【その他】→【教育関連】→【フリー研修室予定表】が参照できます